

新石器時代の始まり

~Stone Age~

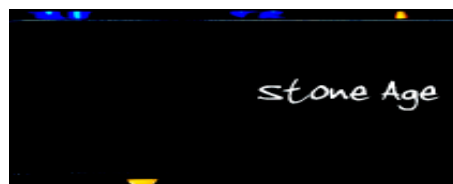
録音再生フォーマットが上がって誰が得をしたのか？誇らしげな「分解能」や「ダイナミックレンジ」は一体どこで昼寝を貪っていたのか？絵に描いた餅をまだ売るつもりなのか？そんなものを買うウブな人間など、我々の周りにはもう一人もいない。「業界人が踊り、ユーザーは踊らない盆踊り大会」、これが今日の日本のオーディオだ。

いまさら3次元表現など当たり前ではないか？

今、オーディオがやるべきことは音のエネルギーを取り出してリスナーに体感してもらうことだ。バクバク動く「音の心臓」を掴み取って、リスナーの掌に載せることだ。それともう一つ。リスナーを「浄土」にいざなうことだ。日本のピュア・オーディオが生き残る道はおそらくそれしかない。高価なBGMシステムに満足している自称「通」向けの商品は他の国にまかせておけばいいのだ。

Stone Ageの仕事は、オーディオを進化させることではありません。

オーディオの歴史の中から「最良の果実を収穫する」ことです。移り変わりの激しいオーディオの歴史の中から本当に良いパーツだけをピックアップし、その設計者でさえ知らなかったであろう実力を引き出すことで、音楽の心臓を掴み取り、リスナーを浄土にいざないます(最良のパーツの殆どは過去に生産を終えており、現在入手困難なものが少なくありません。TDA1541, CS8412-IS, WE社製トランスコアなど)。そのためのコストも手間も惜しみません。**Stone Age**のプロダクトの内容は半端ではありません。溜息の出るパーツ群とその実力を極限まで引き出す回路、そして振動に対する深い理解から生まれた、「Triangl's Nest Structure(TNS構造)」という極めて独創的なシャーシ構造を有しています。



株式会社 ストーンエイジ

〒110-0005 東京都台東区上野5-6-11 リベラ秋葉原1F

T E L 03-5761-4340

F A X 03-5761-4341

<http://www.stone-age.co.jp>

定休日 毎週月、火曜日(祝日は営業いたします)

Stone Age One point zero



デンマーク製 DEXA Technologies 社のアンプモジュール NCD1 を使用したデジタル・パワーアンプです。このアンプモジュールの音を聴いてデジタルアンプに対する私達のネガティブなイメージはほぼ払拭されました。

このアンプモジュールはオーディオの歴史に名をとどめるでしょう。

NCD1 と PSU(NCD1 をドライブする専用電源モジュール)と電源トランスを購入し、出来合いのシャーシにセットすればNCD1 の並外れた音を手軽に味わうことができます。

しかし、この音の賞味期限はそう長くはありません。遠からぬ日に飽きてしまいます。

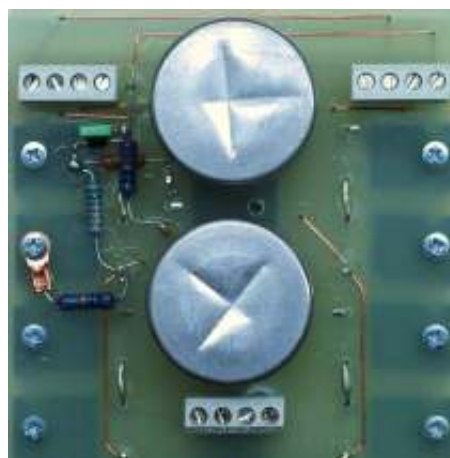
「生々しさ」と「躍動感」に不満が出ます。つまりオーナーの予測を常に上回る「音楽の切れ込み」に欠けるのです。

Stone Age はこの地点から設計をスタートし、One point zero によって飽きることのない果実を収穫しました。

これは NCD1 の基本設計の確かさによるものです。



NCD1 モジュール



電源回路部

One point zero ではNCD1に多用される表面実装部品のうち、音質に深く関わるキー・パーツを変更しています。また、電源回路は自社製です。NCD1 への電力供給スピードを上げるため、プリント基板は使用せず、パーツとパーツをダイレクトに結合しています。

使用パーツはヒアリングで厳選した最上グレードのものを使用しています。



One point zero はRコア電源トランスを2基使用し、1基のトランスにプラス側を、もう1基にマイナス側を受け持たせています。



NCD1 と出力端子を結ぶケーブルは、シュテルンクラック製の Ephemera(エフェメラ)を使用しています。研磨し、酸化皮膜を除去した幅 6mm 厚さ 0.03mm の銅箔に、極めて薄く軽量の皮膜で強靱な空気遮断性が得られる「漆」を塗布して導体を作り、これに超軽量のオーガンジーの絶縁被覆を纏わせた Ephemera は、One point zero の卓越したスピードと自在な表現力を完全に引き出しています。



One point zero のシャーシはとてもユニークです。「インテリジェント・ブラック」に塗装されたメインシャーシに固定されるのは2基の NCD1 と入出力端子のみ。2基の電源トランスと電源回路モジュールは各々にアルミ製の3点フットが与えられ、メインシャーシを貫通して置き台に自立します。

私たちが「Triangle 's Nest Structure (TNS構造)」と呼ぶこのシャーシ構造のメリットは、

1. 電源トランスの振動がメインシャーシを介さず設置台にダイレクトにアースされる。
2. 独立した全てのセクションの重心位置が3点フットの作る三角形のほぼ中心にくる。
3. 振動エネルギーの代謝スピードが速い。そのため、極めてハイスピードに設計された回路

の

ポテンシャルを完全に引き出すことができる(各セクションを独立させることでコンポーネントの重量の分散を図り、さらに分散した質量のそれぞれに3点フットを与えて設置台にアースするため、振動エネルギーの減衰スピードが、一般的なシャーシ構造と比較して格段に速い)。

4. メインシャーシにストレスがかからないため、シャーシを流れる振動の波形(ソースの波形と一致していることが望ましい)が歪まない。一般的なシャーシ構造では、マウントされる部品の荷重、ネジによる締め付け、ダンピング処理、接合部のガタなどにより、シャーシを流れる振動の波形が歪められ、音声信号にフィードバックされて再生音にストレスがかかります(キツさ、ぎらつき、鈍重さ、分解能の甘さ、レンジの狭さ、繊細なニュアンスの消失など)。

さらにメインシャーシを構成する3つのアルミパネルは最小の接触面積しか持たず、僅か 8 本の

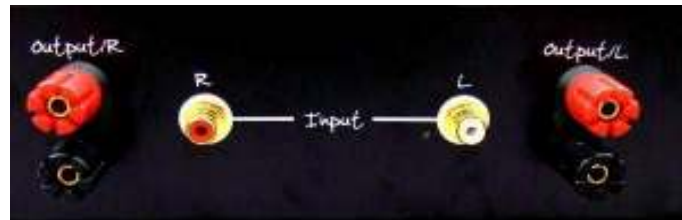
ボルトでストレスフリーに組み立てられています。

音の素性の良し悪しはシャーシ構造で決まります。

One point zero の音はあなたをノックアウトするでしょう。

なお、NCD1について詳しくお知りになりたい方は、DEXA Technologies 社の HP をご参照ください。

<http://www.newclassd.com/>



One point zero

Digital stereo power amplifier

入力インピーダンス: 5K Ω

アナログ入力1系統(RCA)、出力1系統(バナナ端子使用可)

外形寸法: 342W × 95H × 265D (mm)

色: インテリジェント・ブラック

価格: ¥735,000(税込)

(仕様および価格は予告なく変更する場合がございます)

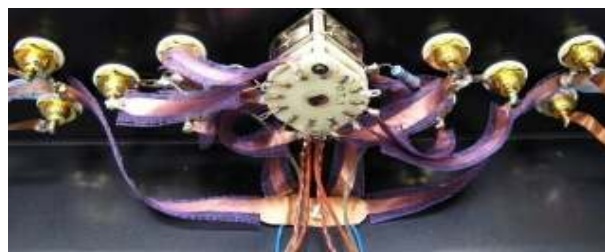
Stone Age Two point zero



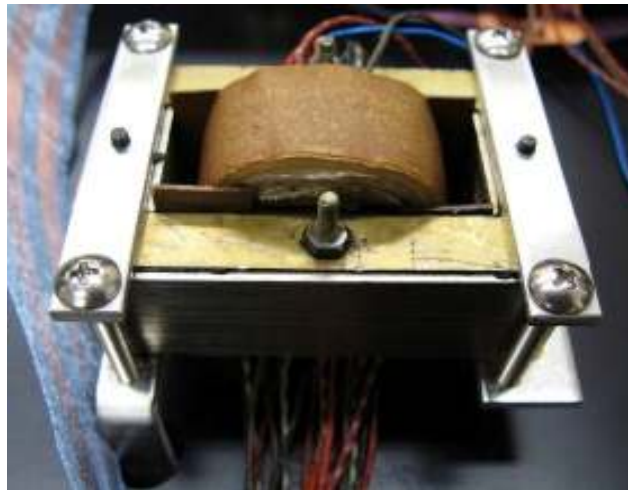
Two point zero は、ウエスタン・エレクトリック社製オリジナルパーマロイコアを使用した特注21接点トランス式アッテネーターをL,Rに各1機使用したパッシブプリです。



現代におけるプリの性能とは、すなわちボリューム性能です。トランス式アッテネーターの音質を体験すると他の如何なるボリュームも聴きたくなくなります。音量を絞っても一切ボケない。パワーアンプに対する素晴らしいドライブ力。自由落下する石のごときストレスフリーな音の出方。垂直に立ち上がる音像。広大なレンジ。色付けの無さ。そしてボリューム自体がデジタルノイズのフィルターになるというパラドクス…。



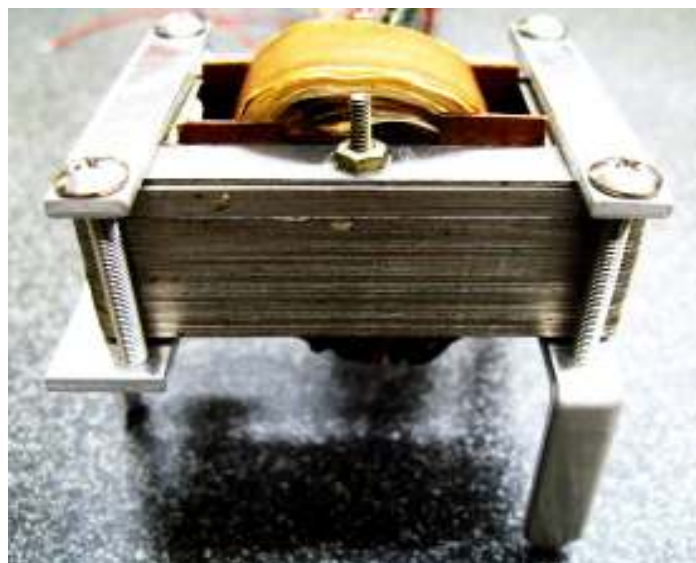
Two point zero の試作過程で、極めて透磁率の高いファインメットコアを使用したアッテネーターも試作しテストしましたが、改めてWE社のパーマロイコアの官能性に驚かされました。



WEトランスの入出力ケーブルにもWE純正の絹巻錫メッキ銅単線を使用しました。

導体直径が0.4mm、これは丸線としては理想的な直径です。

これ以外の内部配線は全てシュテルンクランク製 Ephemera (詳細はOne point zero をご参照ください)を使用しています。

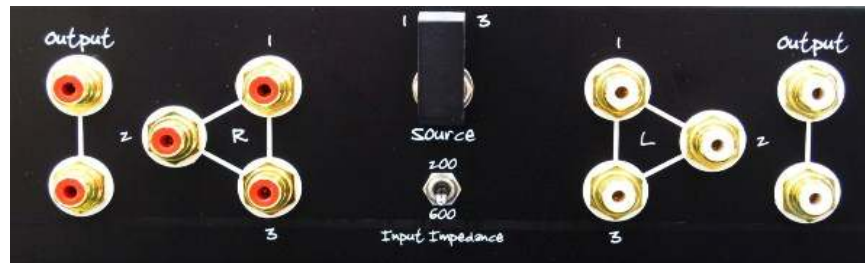


WEトランスは、Stone Age 独自の「Triangle's Nest Structure(TNS構造)・・・詳細はOne point zero をご参照ください」によって3点フットを持つアルミ製のブラケットにがっちりとマウントされ、メインシャシーを貫通して置き台に自立します。また、このブラケットはトランスのコア同士をしっかりと密着させる役割も兼ねています。

Two point zero は入力インピーダンスを切り替えて楽しむことができます(600Ωと200Ω)。600Ωのポジションで客観性の高い表現を、200Ωにするとゲインが高まり、感度が上昇したかのような活気に満ちたアグレッシブな表現を楽しめます。

スタンダード仕様の出力は2系統で、4台のパワーアンプをドライブできます。

更にオプションで4系統まで増設可能です。



Two point zero

Transformer attenuator preamplifier

入力インピーダンス200Ω/600Ω(リヤパネルのロータリースイッチで切り替え)

出力インピーダンス5kΩ

入力3系統(RCA)

出力2系統(RCA)。オプションで4系統まで増設可。

外形寸法:342W×95H×290D(mm)

色:インテリジェント・ブラック

価格:¥735,000(税込)

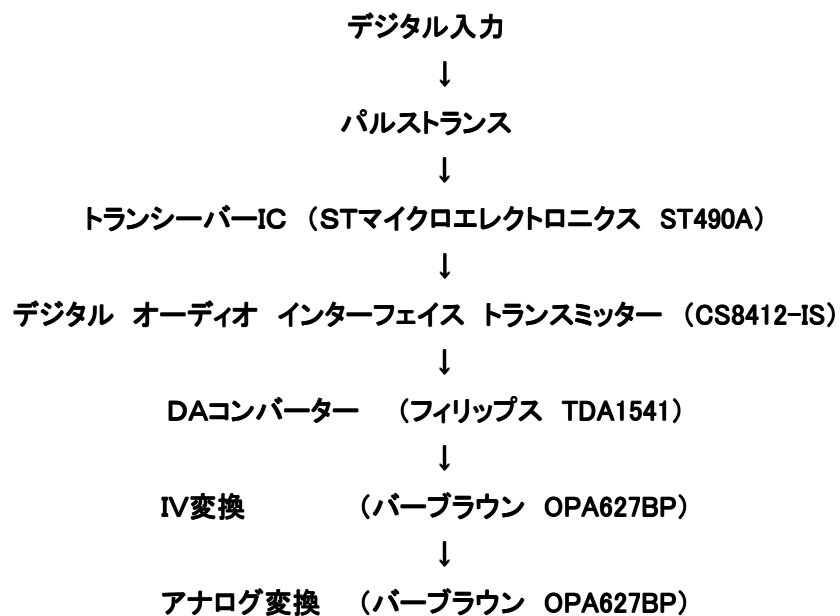
(仕様および価格は予告なく変更する場合がございます)

*** 25台の限定販売です。**

Stone Age **Three point zero**

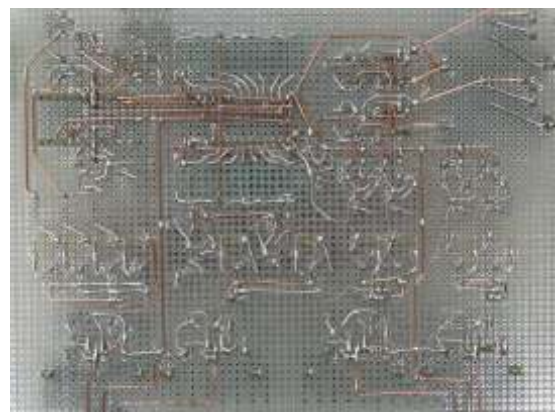
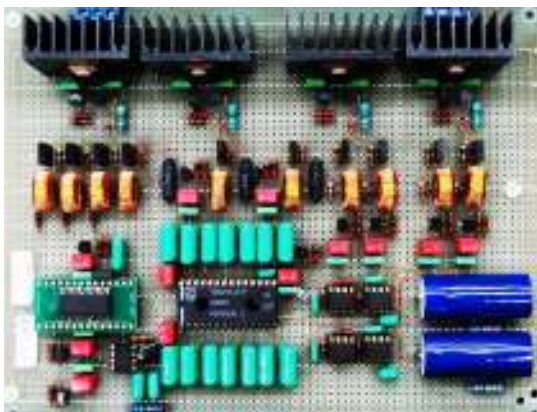


おそらく普通のCDの再生にここまでこだわり、贅を尽くしたDACの登場は初めてでしょう。
Three point zero の登場によって、もうアナログレコードを聴く必然性は無くなりました。
まずはThree point zero の信号処理の流れをご覧ください。





上記デバイスへの電源供給は、ノイズを発生する3端子レギュレーターを一切使用せず、シャントレギュレータTL431を使用した10個の完全ディスクリート電源で行い、極めて良質、かつ安定した電源環境で全てのデバイスを動作させています。



核となる回路モジュールにはプリント基板さえ使用しません。1,5mm厚のエポキシ製「蛇の目基板」に全てのパーツをマウントし、空中配線で部品同士を結合しています。基板にダンプされたパターン配線を通るよりも振動の抜けが格段に速く、半田箇所も50%削減できました。

他のコンバーターがどうしてもCDから取り出せなかった「生々しさ」、「躍動感」を、Three point zeroはこの回路モジュールによって取り出したのです。



そして、Three point zero は、半永久的な寿命と最高の音質を持つフィルムコンデンサーのみで構成された唯一のDACです。電解コンデンサーは一切使用していません。小容量330 μ F(でも缶コーラほどの大きさです)のフィルムコンデンサー4個とリカバリー・タイム=18ナノ・セカンドという超高速ダイオードにより、群を抜くハイスピード・ロー・イナーシャ電源を持つDACです。

電源トランスは70VAのRコア・トランスをデジタル部に1基、そしてIV変換とアナログ部にも1基使用し、相互の干渉を排除しています。

2基の電源トランスと巨大なコンデンサーブロックは、「Triangle's Nest Structure(TNS構造)・・・詳細はOne point zero をご参照ください」によって、それぞれアルミ製の3点フットを持ち、メインシャーシを貫通して設置台に自立します。「インテリジェント・ブラック」に塗装されたメインシャーシに固定されるのは回路部モジュールと入出力端子、それにパイロットランプのための専用電源モジュール、これだけです。

入出力ケーブルはシュテルンクランク製 Ephemera (詳細はOne point zero をご参照ください)を使用しています。ハイスピードな回路は、ハイスピードなシャーシと内部配線材を得てはじめてその真価を発揮します。

Three point zero の内容は半端なマニアック達の及ぶところではありません。「成仏できる音でCDを聴きたい」という Stone Age のデザイナーの執念が生んだ作品です。

Three point zero を、シンプルで良質なトランスポートと組み合わせれば、アナログレコードに負けない「生々しさ」と「躍動感」をCDから引き出します。そして微妙なニュアンスの再現性と表現の正確さにおいて、アナログレコードを抜き去っています。



**Three point zero
ノン・オーバーサンプリング方式 Digital to Analog Converter**

入力:1系統(RCA)

出力:1系統(RCA)

入力サンプリング周波数:44.1kHz

出力電圧:2V

外形寸法:421W×104H×365D(mm)

色:インテリジェント・ブラック

価格:¥1,155,000(税込)

(仕様および価格は予告なく変更する場合がございます)

2007年12月8日改定